

クラフトプログラム

他人には「いつまであんなの使っているんだろう？」とみられていても、自分のものには愛着があってなかなか捨てられないもの。ましてや自分の手作りの作品ともなればなおさらでしょう。お金さえ出せばなんでも手軽に手に入る時代ですが、「自分らしさ」のある、オリジナルの作品を作ってみませんか？

(1) クラフトプログラムのねらい

○自然に気づききっかけとして

ふれあいの村の中に落ちているものを利用してクラフトをおこなうことで、自然がより身近に感じられるようになり、その後の生活への意識付けにもつながります。



○工夫する力を養う一つとして

材料も作り方も自分で考えたオリジナルの作品を作る過程において、試行錯誤を繰り返し、目的に向かってたどり着くための手段を見つけます。また、それにより達成感も味わうことができます。

○道具の取り扱いを覚える手段として

日頃の生活でのこぎりやナイフを使うことはあまり多くはなくなりましたが、それでも、出番はまだあります。この機会に正しい道具の使い方を覚えれば、これからの生活に役立てることができます。

(2) 足柄ふれあいの村のクラフトプログラム

【時間】 1時間30分～3時間程度（個々のプログラムによって異なります）

【活動場所】 炊事工作棟工作室 または 工作棟

※材料集めは村内全域で可能、また火を使う場合は炊事場や広場も利用します

【メニュー】

◇木のクラフト

マイはしづくり	小中学生	1時間30分以上
---------	------	----------

◇自然材・間伐材のクラフト

キーホルダー、ペンダント、ブローチ	幼～小学生	1時間30分以上
自由クラフト (鉛筆立て、コースターなど)	小中学生	1時間30分以上

◇火を使ったクラフト

焼き板	小中学生	1時間30分以上
-----	------	----------

※対象と時間はあくまでも目安です

(3) クラフトプログラムの進め方

事前

【実施の申込み】

- ・対象に合わせたプログラムを決定し、活動計画書に記入します。
- ・他団体とのプログラムの重複等を確認します

打合せ

【打合せ】

- ・貸出物品(工具)の内容と数量の確認をします

準備

【準備】

- ・作品の種類に応じ、消耗品(ボンドや釘、紙ヤスリ、マジックなど)を用意します
- ・作品例や作り方用紙のコピーをします(グループ数)
- ・雨天時の対応を決めておきます

【事前学習】

- ・必要に応じて、各自が作品の構想を練っておきます

実施

【実施】

- ・事前注文品を事務室で受け取ります。
- ・工作室または工作棟の用具庫の鍵を、事務室で借り受けます
- ・作業内容や工程、安全上の注意点を説明します
- ・用具庫から必要な工具を取り出し、配布します

終了

【片付け】

- ・使用した工具の汚れを払い、数を確認しながら用具庫へ返します
- ・工作机の上のゴミを片づけ、イスを寄せます
- ・床に落ちているゴミを拾います
- ・床の板目の間に入っている木くずは掃かなくてかまいません
- ・用具庫の鍵を事務室へ返却します

(4) 貸し出し物品と持ち物

【ふれあいの村で貸し出せるもの】

- ・工具類(のこぎり、ナイフ、ヤスリ、きり、げんのう など) ※裏面も併せてご覧ください
- ・クラフト見本

【持参するもの】

- ・消耗品(ボンド、釘、紙ヤスリ、マジック、ひも類 など)
- ・救急用品

【購入可能なもの】

- ・マイはし
- ・ペンダント、キーホルダー、ブローチ(間伐材の輪切り、金具又はヒモ、紙ヤスリ)各セット
- ・紙ヤスリ
- ・ボンド
- ・焼き板(板、バーナー、たわし)

(5) 企画上・運営上の留意点

【ゆとりを持って】

活動時間はゆとりをもって計画してください。あらかじめ、どんなものを作るか、どんな絵を描くかなど、構想を立てておくだけでプログラムの展開がスムーズになります。時間に追われての製作は単なる作業となり、独創性や感性を刺激することができなくなってしまいます。

また、できるだけ時間内に仕上げるのが望ましいことではありますが、完成をみなかった場合でも、必ず別の場所で時間をとり、作品を完成させましょう。

【興味・関心から】

自分で作ってみたいと思う動機付けをおこなうことが肝心です。そのために完成した作品を見せたり、その使い方(遊び方)を教えたりして、自分だったらどう工夫するか、どう使うかを考えさせましょう。

また、作品自身を作る工程は単純なもので構いません。むしろその方が、デザインなどの細かいところに自分らしさを出す余裕が生まれます。

【工夫を褒める】

どのような作品を作るかだけでなく、限られた道具と材料をいかに活用して作るかということも、自分らしさを出せる部分です。製作過程での試行錯誤を見守り、完成した際は、出来上がりの作品の素晴らしさだけでなく、途中でのつまづきから工夫、気づきまでの経過も褒めてあげましょう。

【自然を知る】

自然材のクラフトをおこなう際などには、その素材となるものを村内で拾ってくることから始めましょう。その際には、ただ拾うのではなく、なぜそれがそこに落ちているのかなどを調べながら拾わせるようにします。そうすることで、自然から命のかけらを分けていただいているという気持ちが芽生えます。

天候の都合やその他の理由で、事前に集めた材料を使う場合でも、必ずその材料の所以を説明してから作品製作に入るようにします。

【安全におこなう】

製作に没頭して、材料や道具を放置したままということが多々見受けられます。特に刃物は大きなケガにつながるので十分な注意が必要です。工具の使い方を指導するのはもちろんですが、始めに注意事項を全体で約束してから作業に入ります。

また、行いたい作業にあった工具を的確に選ぶことも必要です。

作業前に全体で約束すること※安全面のみ

- ・材料や工具を持ったまま歩き回ったり、振り回したりしません
- ・作業をする時は、必ず前後左右に人がいないかどうか確認をしてからはじめます
- ・手元に集中して作業をします
- ・工具を使わない時は、カバーをして机の上に置きます
- ・作業をしている部屋では走り回りません
- ・一人で難しかったら、無理せず協力しておこないます



(6) ふれあいの村で貸し出せる主な工具とその使い分け



(左から)

幼児用のこぎり (カバー付き)

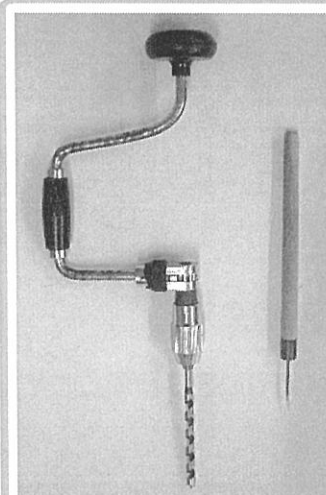
- ・小さい子どもでも使いやすいように、押しでも、引いても切れるようになっている特殊なのこぎり。刃が短いのも特徴です。
- ・炊事工作棟工作室にのみ設置してあります。

竹用のこぎり

- ・細かい竹細工をおこなう時に使用します。
- ・用具庫には置いてありません。プログラムによって事務室から貸し出しをします。

折りたたみのこぎり

- ・主なクラフトはこののこぎりを使用します。
- ・工作棟、工作室どちらの用具庫にも設置してあります。



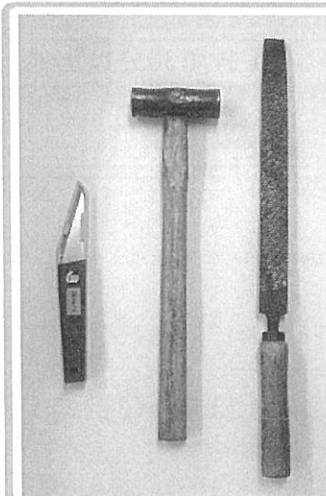
(左から)

くりこぎり

- ・鉛筆立てなどの、大きい穴をあける時に使います。
- ・先端のドリル刃が何種類かありますので、好みの大きさの穴が作れます。
- ・ドリル刃を穴をあけたいところに当て、上の黒い部分を片手で下に押し当てるようにし、もう片方の手で中間部の黒い部分を握ってまわします。
- ・工作棟、工作室どちらの用具庫にも設置してあります。

きり

- ・小さめの穴をあける時に使います。
- ・工作棟、工作室どちらの用具庫にも設置してあります。



(左から)

クラフトナイフ (カバー付き)

- ・竹や木を削るのに使える、万能ナイフです。
- ・工作棟、工作室どちらの用具庫にも設置してあります。

げんのう (かなづち)

- ・工作棟、工作室どちらの用具庫にも設置してあります。
- ・釘抜きも設置してあります。

ヤスリ

- ・竹や木の切り口などのバリ(ささくれ)取りに使います。
- ・削りたい面に鈍角になるように当て、一方方向に動かします。
- ・工作棟、工作室どちらの用具庫にも設置してあります。